



いつもJA津安芸をご利用頂きありがとうございます。
JA津安芸管内の農業情報や農業を営む担い手の皆様に
少しでも役に立つ情報をお届けさせていただきます。

梅雨空が広がる！！ ジメジメした日は、いもち病に要注意！

<そろそろ梅雨らしい日が多くなるのか？>

今年は、例年になく東海地方の梅雨入りが5月16日ごろと早くなりました。
しかしながら、梅雨の晴れ間が続き梅雨空が戻りそうな予報が多くなってきました。
そんな梅雨時期にイネにとって、心配になる病気は『いもち病』です。
いもち病の感染好適条件が揃いやすい時期になるので、最新情報を取り入れて
早期発見！早期防除を行いましょ！

三重県病害虫防除所

●いもち病発生予想支援システム(ブラスタム)では、
気象庁のアメダスのデータを利用して
いもち病の発生時期を地域ごとに予測しています。

いもち病菌の感染好適条件

- ☆平均気温15℃～25℃
- ☆湿潤時間10時間以上
- ☆当日を含めて前5日間の平均気温が20℃～25℃

令和3年	桑名	四日市	亀山	上野	津	小俣	粥見	鳥羽	南伊勢	紀伊長島	尾鷲	熊野新鹿	新宮
6/01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/04	-	-	-	-	-	-	◎	●	●	-	-	-	△
6/05	-	-	-	-	-	-	-	●	●	●	-	-	-
6/06	-	-	-	-	-	△	-	△	△	●	△	●	-
6/07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

◀●印が付いたら、注意！▶

いもち病の感染好適条件が揃うと、●印が付きます

三重県病害虫防除所 ブラスタム

検索



詳しくはこちらから閲覧できます。

<https://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39584007416.htm>

葉いもち病は、降雨などによって水稻の葉が一定時間濡れた時に、感染・発病します。
いもち病菌の感染に好適な気象条件になった日(●印)から7日～10日後に葉いもち病の病班が現れます。



【写真】
発生2～3日後
の病斑

- ☆葉いもち病が初発段階では、予防的に粒剤が効果的です。(コラトップ粒剤)
 - ☆発生が目立つ場合には、治療効果の高い液剤・粉剤を散布してください。(ブラシン・ダブルカットなど)
- 《注意》
- ・前年に、いもち病が発生した圃場には、菌の付着した糶やワラが伝染源になり発生しやすい。
 - ・圃場にある補植用の置き苗も伝染源になるので、速やかに除去してください。

【昨年に西日本で大発生した海外飛来性害虫(トビロウンカ等)への備えを！】



ウンカ類にも
注意！

トビロウンカ等の飛来性害虫は、梅雨時期のジェット気流にのって日本に飛んできます。
イネへの被害が見られると早急な防除が必要なため、
見つけ次第対処できるように田んぼの見回りをしておきましょう。